

令和7年産米 栽培記録簿 (GAP確認シート付) ～JA米基準～



令和7年産米 栽培記録簿・GAPチェックシート①

地 区		生産組合
氏 名		
住 所 ・ 電 話	富山県下新川郡 TEL () -	
品 種 名	富富富	
出 荷 区 分	出荷契約米 ・ 輸出用米	

種 粃	購入先： J A ・ その他 ()
	数 量： kg (消毒種子 ・ 未消毒種子)
	播種量： g /箱
	播種日： 月 日～
苗	購入先：
	数 量： 箱 (内苗箱施薬入 箱)
移植方法	一般苗 ・ 密苗 (株数： 株植え)

区分	作業名等	作業月日等
本田管理	耕 起	月 日～
	荒 代 か き	月 日～
	代 か き	月 日～
	田 植 え	月 日 ～ 月 日
	中 干 し	月 日 ～ 月 日
	出 穂 期	月 日～

作 業 名	作業月日	
収 穫	月 日～	個人・委託 ()
乾燥・調製	月 日～	個人・委託 ()

出 荷 日	月 日 ～
-------	-------

JAみな穂 栽培記録簿

検索

ホームページからダウンロードもできます！



※ J A 記入

記録簿確認

確認者氏名

(地区担当者)

安全安心担当者

検 印

令和7年産米 栽培記録簿・GAPチェックシート②

品 種	富富富	区分	出荷契約米 ・ 輸出用米
面 積	a		

区 分	チェック	肥 料 名	施 用 月 日	施 用 量
土づくり		珪酸石灰（粒）	月 日～	kg/10a
		シリカパンチF		
		アサヒニューテツ		
		発酵ケイフン（粒）	月 日～	kg/10a
基 肥		苦土重焼燐	月 日～	kg/10a
		基肥206号	月 日～	kg/10a
		富富富一発（側条施用）		
中間追肥		エスアイ加里らくだ	月 日～	kg/10a
穂 肥		①追肥3号	月 日～	kg/10a
		②追肥3号	月 日～	kg/10a
			月 日～	kg/10a

区 分	チェック	農 薬 名	使 用 月 日	成分数	希釈倍数	使用量
種子消毒		テクリードCフロアブル	月 日～	1	7.5倍	_____
			月 日～		倍	
育苗防除等		イチバン乳剤	月 日～	—	500～1000倍	_____
			月 日～		倍	
苗箱施薬		フェルテラ箱粒剤	月 日～	1	_____	g /箱
		アレモンガレス箱粒剤	月 日～	2	_____	g /箱
			月 日～		_____	g /箱

氏 名 _____

※設問に該当する場合は、右側のチェック欄に✓を記入して下さい。

【 作付け計画 】

チェック時期
(目安) チェック

農事座談会への参加やパンフレット（営農情報、稲作ごよみ等）の活用などにより情報収集しましたか。	3月	✓
経営規模・機械装備に応じ、バランスの取れた品種構成で作付けを計画しましたか。	3月	
自家採取種子を使用せず、品種ごとに区別して作業しましたか。	4月	

【 土づくり 】

土づくり資材（ケイ酸質資材等）や有機物（堆肥、緑肥等）の施用による土づくりを行いましたか。 【とやまGAP14】	4月	
稲わらは野焼きせず、堆肥の原料や飼料として利用したり、ほ場にすき込むなど適正な処理をしましたか。 【とやまGAP36】	前年11月～	

【 肥料の適正使用 】

基肥は「稲作ごよみ」による施用基準等に則して、適正に施用しましたか。 【とやまGAP14】	5月	
生育量に応じて、適正に追肥（穂肥）を施用しましたか。 【とやまGAP18】	7月	
肥料の購入伝票を保存するとともに使用状況を生産履歴簿等に記帳をしましたか。 【とやまGAP34】	随時	

【 登熟期間の湛水管理 】

出穂期から20日間の湛水管理（田面水の深さ2～3cm程度）を行いましたか。（稲体の活力維持、カドミウムの吸収抑制） 【とやまGAP31】	8月～9月	
---	-------	--

区 分		チェック	農 薬 名	使 用 月 日	成分数	希釈倍数		使用量
除草剤			かねつぐ1キロ粒剤(初期)	月 日～	2			kg/10a
			ピラクロン1キロ粒剤(初期)	月 日～	1			kg/10a
				月 日～				10a
			プライオリティ1キロ粒剤(一発)	月 日～	2			kg/10a
			プライオリティ豆つぶ250	月 日～	2			g/10a
			アクシズMX1キロ粒剤	月 日～	3			kg/10a
				月 日～				/10a
本田防除(防除方法を○で囲って下さい)	粉 剤		①バリダジョーカー粉剤DL	月 日～	2			kg/10a
			②ラブサイドキラップ粉剤DL	月 日～	2			kg/10a
				月 日～				kg/10a
				月 日～				kg/10a
	液 剤		①モンカトフロアブル+スタークル液剤10	月 日～	2	倍	倍	ℓ/10a
			②ラブサイドK2フロアブル	月 日～	2	倍	倍	ℓ/10a
				月 日～		倍	倍	ℓ/10a
				月 日～		倍	倍	ℓ/10a
				月 日～		倍	倍	ℓ/10a
	無人ヘリ ドローン		①モンカトフロアブル+スタークル液剤10	月 日～	2	倍	倍	0.8ℓ/10a
			②ラブサイドK2フロアブル	月 日～	2	倍	倍	0.8ℓ/10a
				月 日～		倍	倍	0.8ℓ/10a
				月 日～		倍	倍	0.8ℓ/10a
				月 日～		倍	倍	0.8ℓ/10a
	※使用した農薬の成分数合計の記入をお願いします。				成分数合計		(12成分以内)	

その他取組作業のチェック項目(該当作業にチェックをお願いします)

☐ 専用機械で苗箱施薬を播種と同時に施用している。	☐ 専用機械で苗箱施薬を田植と同時に施用している。
☐ 農薬を使用せず、約60℃の温湯に種籾を浸種し、種子消毒を行っている。	☐ 専用機械で肥料を田植と同時に施用している。
☐ スマート農機の活用(水管理システム・GPS付き農機・Z-GIS等の営農管理システム)	☐ 専用機械で除草剤を田植と同時に施用している。

【 農薬の適正使用 】

チェック時期
(目安) ☒

農薬は「稲作ごよみ」や農薬ラベルに記載されている使用量、時期、回数を守って使いましたか。 【とやまGAP25, 27】	随時	
農薬散布時は防護マスク、手袋、長そで、長ズボンを適切に着用しましたか。 【とやまGAP9】	随時	
代かき後の濁水の流出防止や除草剤施用後7日間の止水管理をしましたか。 【とやまGAP17】	5月～6月	
周辺作物や住宅地等への農薬の飛散防止と防除前の周知に努めましたか。 【とやまGAP30】	随時	
動力散布機・噴霧機等の使用前後に点検とタンクの清掃を行いましたか。 【とやまGAP26】	随時	

【 廃プラスチックなどの適正処理 】

肥料袋、農薬の空容器などの農業用の廃プラスチック類はJA等の廃プラ回収により適正に処理しましたか。 【とやまGAP35】	随時	
---	----	--

【 燃料の適正管理 】

燃料は専用の容器に入れ、風通しの良い場所で保管していますか。 【とやまGAP33】	随時	
--	----	--

【 収穫・乾燥・調製 】

コンバインや施設内等の清掃・点検を徹底し、異品種や異物が混入しないよう、注意しましたか。 【とやまGAP37】	8月～9月	
籾黄化率などを確認し、適期収穫を行いましたか。	8月～9月	
米穀収穫後、乾燥は適切な温度管理で行いましたか。 【とやまGAP39】	9月～	
玄米の出荷容器の記載事項、量目をきちんと確認して袋詰めしましたか。【とやまGAP40】	10月～	

『とやまGAP』の実践でより良い農業を！

①安全な農産物の生産

生産した農産物が人の健康にとって安全かどうか

②環境の保全

農業活動に伴って周辺環境が脅かされていないかどうか

③農業者の安全確保

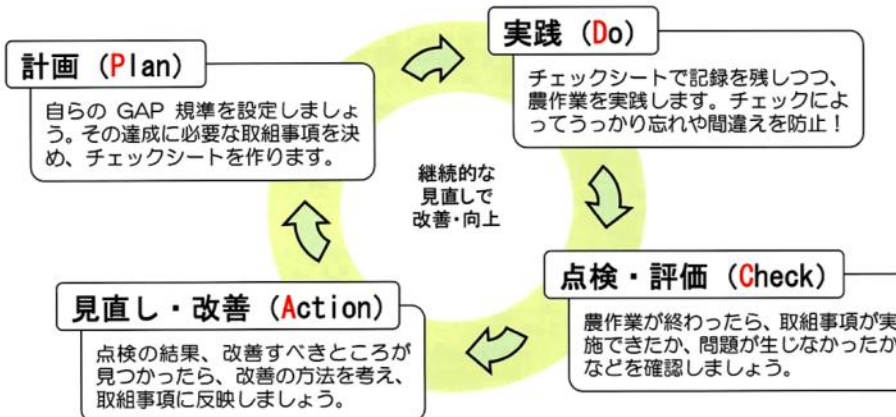
農業者の安全が確保されているかどうか



上記3つの視点から農業生産活動に潜むリスク(危険)を事前に把握・分析しておき、リスクの発現を未然に防ぐことで、結果として『良い』農業生産活動とする取組みが『GAP』です。

『GAP』の実践

『計画』に対し『実践』、『点検・評価』、『見直し・改善』を繰り返す『PDCAサイクル』を用いた工程管理を行っていくことがGAPの実践になります。



～ Good Agricultural Practiceで、安全・安心な稲米を消費者に～
良い 農業の 実践

JA米の条件

- ①品種が確認できた種子により栽培した米穀
- ②登録検査機関で受検された米穀
- ③栽培記録簿の記帳内容をJAが確認し適切であると認めた米穀



作業終了後の記入を徹底しましょう。

記入漏れやGAPシートのチェック漏れに注意しましょう。

令和4年度米 栽培記録簿・GAPチェックシート

氏 名 みな穂太郎

品 種	コシヒカリ	区 分	出荷契約米 加工用米・備蓄米
面 積	120 a		米粉用米・輸出用米・飼料用米

※設問に該当する場合は、右側のチェック欄に○をし、
チェック日を記入して下さい。

チェック
○ 日

【 作付け計画 】

農事座談会への参加やパンフレット（営農情報、稲作ごよみ等）の活用などにより情報収集しましたか。	3月	○	3/30
経営規模・機械装備に応じ、バランスの取れた品種構成で作付けを計画しましたか。	3月	○	3/30
自家採取種子を使用せず、品種ごとに区別して作業しましたか。	4月	○	4/30

種 粳	購入先：	みな穂農協
	数 量：	20 kg
	播種日：	4 月 13 日～
苗	購入先：	
	数量：	箱
栽植密度	株 数：	70 株植え

区分	作業名	作業月日
本田管理	耕 起	4 月 10 日～
	荒 代 か き	5 月 3 日～
	代 か き	5 月 9 日～
	田 植 え	5 月 12 日～
	中 干 し	6 月 10 日～
	出 穂 期	8 月 3 日～

【 土づくり 】

土づくり資材（ケイ酸質資材等）や有機物（堆肥、緑肥等）の施用による土づくりを行いましたか。 【とやまGAP13】	4月	○	4/5
稲わらは野焼きせず、堆肥の原料や飼料として利用したり、ほ場にすき込むなど適正な処理をしましたか。 【とやまGAP34, 35】	前年 11月 ～		/

【 肥料の適正使用 】

基肥は「稲作ごよみ」による施用基準等に則して、適正に施用しましたか。 【とやまGAP15】	5月	○	5/12
生育量に応じて、適正に追肥（穂肥）を施用しましたか。 【とやまGAP17】	7月		/
肥料の購入伝票を保存するとともに使用状況を生産履歴簿等に記帳をしましたか。 【とやまGAP33】	随時		/

【 登熟期間の湛水管理 】

出穂期から20日間の湛水管理（田面水の深さ2～3cm程度）を行いましたか。（稲体の活力維持、カドミウムの吸収抑制） 【とやまGAP30】	8月～ 9月	○	8/30
---	-----------	---	------

区 分	チェック	肥 料 名	施 用 月 日	施 用 量
土づくり		珪酸石灰（粒）	4 月 5 日～	120 kg/10a
	○	シリカパンチF		
		トップバター		
		アサヒニューテツ		
		発酵ケイフン（粒）	月 日～	kg/10a
基 肥		苦土重焼燐	月 日～	kg/10a
		基肥206号	5 月 12 日～	38 kg/10a
	○	Jコートコシヒカリ1号		
		Jコートコシヒカリ2号		
中間追肥	○	エスアイ加里らくだ	6 月 25 日～	15 kg/10a
穂 肥		①追肥3号	月 日～	kg/10a
		②追肥3号	月 日～	kg/10a
			月 日～	kg/10a
			月 日～	kg/10a

区 分	チェック	農 薬 名	使 用 月 日	使 用 量
種子消毒		モミガードC・DF（塗抹処理）	月 日～	7.5 倍液
			月 日～	
育苗防除等		イチバン乳剤	月 日～	倍液
		ケミクロンG粒剤	月 日～	倍液
苗箱施薬		ルーチンブライト箱粒剤	月 日～	g /箱
			月 日～	g /箱
除草剤	○	かねつぐ粒剤（初期）	5 月 12 日～	1 kg/10a
		マーシェット粒剤（初期）	月 日～	kg/10a
	○	ボデーガードプロ粒剤（一発）	5 月 25 日～	1 kg/10a
		ボデーガードプロジャンボ（投込一発）	月 日～	g/10a
		アクシズMX粒剤	月 日～	kg/10a
			月 日～	
本田防除 （防除方法に○を付けて下さい）	粉 剤	①ブラシントレバリダ粉剤DL（共通）	月 日～	kg/10a
		②ラブサイドキラップ粉剤DL（共通）	月 日～	kg/10a
		③スタークル粉剤DL（早生）	月 日～	kg/10a
	液 剤		月 日～	kg/10a
		①モンカットフロアブル + トレホンEW（早生）	月 日～	ℓ/10a
		①モンカットフロアブル + スタークル液剤10（中生、晩生）	月 日～	ℓ/10a
		②ラブサイドキラップフロアブル（共通）	月 日～	ℓ/10a
	ドローン 無人ヘリ	③スタークル液剤10（早生）	月 日～	ℓ/10a
		①モンカットフロアブル + トレホンエア（早生）	月 日～	0.8 ℓ/10a
		○ ①モンカットフロアブル + スタークル液剤10（中生、晩生）	8 月 3 日～	0.8 ℓ/10a
		○ ②ラブサイドフロアブル + キラップフロアブル（共通）	8 月 10 日～	0.8 ℓ/10a
		③スタークル液剤10（早生）	月 日～	0.8 ℓ/10a
作 業 名		作 業 月 日		
収 穫		9 月 10 日～		個人委託（ ）
乾燥・調製		9 月 10 日～		個人委託（みな穂農協）

【 農薬の適正使用 】

チェック時期
(目安) ○ 日

農薬は「稲作ごよみ」や農薬ラベルに記載されている使用量、時期、回数を守って使いましたか。 【とやまGAP24, 26】	随時	○	8/7
農薬散布時は防護マスク、手袋、長そで、長ズボンを適切に着用しましたか。 【とやまGAP8】	随時		/
代かき後の濁水の流出防止や除草剤施用後7日間の止水管理をしましたか。 【とやまGAP16】	5月～6月	○	5/25
周辺作物や住宅地等への農薬の飛散防止と防除前の周知に努めましたか。 【とやまGAP29】	随時	○	8/7
動力散布機・噴霧機等の使用前後に点検とタンクの清掃を行いましたか。 【とやまGAP25】	随時		/

【 廃プラスチックなどの適正処理 】

肥料袋、農薬の空容器などの農業用の廃プラスチック類はJA等の廃プラ回収により適正に処理しましたか。 【とやまGAP34】	随時	○	6/4
---	----	---	-----

【 燃料の適正管理 】

燃料は専用の容器に入れ、風通しの良い場所で保管していますか。 【とやまGAP32】	随時	○	9/5
--	----	---	-----

【 収穫・乾燥・調製 】

コンバインなどの清掃・点検を行い、収穫の際に異品種や異物が混入しないよう、注意しましたか。【とやまGAP36】	8月～9月	○	8/20
籾黄化率などを確認し、適期収穫を行いましたか。	9月		/
施設内の清掃を徹底し、異品種や異物が混入しないよう、注意しましたか。【とやまGAP36】	8月～9月		/
乾燥・調製作業の開始前に、各設備の整備・点検、故障箇所の修理をしましたか。【とやまGAP36, 38】	8月～9月		/
乾燥は適切な温度管理で行いましたか。【とやまGAP38】	9月～		/
玄米の出荷容器の記載事項、量目をきちんと確認して袋詰めしましたか。【とやまGAP39】	9月～		/

その他取組作業のチェック項目（該当作業にチェックをお願いします）

☐	専用機械で苗箱施薬を播種と同時に施用している。	☐	専用機械で苗箱施薬を田植と同時に施用している。
☐	農薬を使用せず、約60℃の温湯に種籾を浸種し、種子消毒を行っている。	☐	専用機械で肥料を田植と同時に施用している。
☐	スマート農機の活用(水管理システム・GPS付き農機・Z-GIS等の営農管理システム)	☐	専用機械で除草剤を田植と同時に施用している。